

三田パブリック法律事務所を開設しました

弁護士法人三田パブリック法律事務所所長 三澤 英嗣 (48期)

2018年4月1日、弁護士法人渋谷パブリック法律事務所は、長らく活動の拠点でありました國學院大学法科大学院内の地を離れ、三田に拠点を移し、新しく弁護士法人三田パブリック法律事務所に名称を改め、出発することになりました。それに伴い、去る4月26日、慶應義塾大学内の施設をお借りして、リーガルクリニックシンポジウム及び三田パブリック法律事務所開設記念祝賀会が催されました。

前半のリーガルクリニックシンポジウムは、同大学東館ホールにて、午後5時から約1時間にわたって、行われました。会の内外を問わず100名ほどの参加者を得て、会場はほぼ満席となりました。

同シンポジウムでは、所長挨拶の後、当事務所メンバーである飯田康仁弁護士を司会とし、パネリストとして、当事務所のリーガルクリニックを受講した慶應義塾大学法科大学院修了生2名（現在は、弁護士、司法修習生）と、現役中央大学法科大学院生1名の方々を迎えて、リーガルクリニックを受講しようと思った動機、実際に担当した事件と実施内容、最終報告会等受講しての感想、現在のそれぞれの立場でどのような影響を受けたか等々、ご意見ご感想をいただきました。3人が担当した事件は、それぞれ民事事件、行政事件、刑事事件と異なってはいましたが、座学中心の法科大学院教育の中で実務に直接関与できることや、エクスターンシップと異なり担当した1つの事件に集中して取り組むことについて、積極的な意義を見いだしていました。その後、リーガルクリニックを実施している法科大学院として、中央大学法科大学院の宮下修一教授、慶應義塾大学法科大学

院の本郷亮教授から、それぞれ学生アンケートを踏まえたご報告とご意見をいただきました。本郷教授からは、慶應義塾大学法科大学院では今年度から単位科目とするのご報告があり、会場が盛り上がりました。

後半は、午後6時30分より、同じく慶應義塾大学三田キャンパスのカフェテリアに場所を移して、リーガルクリニックシンポジウムの懇親会及び当事務所の開設記念の祝賀会を、併せて開催いたしました。

祝賀会には、文部科学省、法科大学院、認証評価機関、弁護士会、公設事務所等各分野でご活躍の総勢100名を超える皆様にご出席いただきました。冒頭、安井規雄東京弁護士会会長から開会のご挨拶



開会挨拶をする安井当会会長

をいただき、大月光康文部科学省高等教育局専門教育課専門職大学院室長、菊地裕太郎日本弁護士連合会会長のご挨拶、片山直也慶應義塾大学大学院法務研究科前委員長の乾杯のご発声の後、小木曾綾中央大学大学院法務研究科長、北居功慶應義塾大学大学院法務研究科委員長、新堂幸司日弁連法務研究財団名誉会長、宮川光治元最高裁判所判事、瀧上玲子東京弁護士会公設事務所運営特別委員会委員長から激励のご祝辞を頂戴しました。また、今年度の慶應中央合同リーガルクリニックに参加することとなりました青山学院大学法務研究科の藪口康夫法務研究科長からも、期待を込めたご挨拶を頂戴しました。

ご発言いただいた方以外にも会場から激励の声をかけていただき、短い時間ではありましたが、とても熱気あふれる祝賀会となりました。所員一同、大変光栄に感じると共に、東京弁護士会の公設事務所として、リーガルクリニックの質の向上及び発展に向かって精進することを改めて決意した日となりました。



シンポジウムの様子